

# 令和4年度事業計画書

社会福祉法人 熊本菊寿会

令和4年3月7日作成

# 目次

1 法人理念	3
2 基本方針	4
3 経営方針	5
4 事業計画	
1 法人本部	6 ~ 8
2 特別養護老人ホームさわらび（短期含む）	9 ~ 11
3 デイサービスセンターさわらび	12 ~ 14
4 居宅介護支援事業所さわらび	15 ~ 17
5 グループホーム大和	18 ~ 20
6 介護付き有料老人ホームさわらびⅡ	21 ~ 23
7 サービス付き高齢者向け 杉上	24 ~ 26
8 大和保育園	27 ~ 29
9 さわらびKitchen	30 ~ 32

# 1 法人理念

## 法人理念    **《人との刻を大切に想う》**

「人との刻を大切に想う」を基本理念とし、社会福祉事業の主たる担い手として、利用される方やその家族、地域住民の方々、職員一同とその家族が生き活きと充実した生活が送れるように互いに助け合える環境を創り出していきます。

## 2 基本方針

### 1. 人生を共に創造する（人生は一遍の物語）

- ① 私たちは、関わる人々を想い、寄り添いより良い人生を共に創造していきます。
- ② 個人の尊厳に配慮し、共に住みよい暮らしを創造していきます。
- ③ 生活を楽しむことを中心とした空間を、共に創造していきます。
- ④ L i f e C l e a t o rとしての誇りを持ち、関わる人々と、共に幸せな空間を創造していきます。

### 2. 笑顔あふれる空間をプロデュースする（笑顔は人を幸せにする）

- ① 感謝する心をもつ。「ありがとう」を大切にしていきます。
- ② 幸せを共有する。 より良い未来を創り出し、関わる人全てが豊かになる空間を創り出していきます。
- ③ 安心を共有する。 安心して暮らせる空間を共に創っていきます。

### 3. サービスの質の向上と人材育成（明日を信じて生きる）

- ① 今日よりも明日。 誰のため、何のためのケアなのかを考え行動します。  
一人に向き合い、ケアの向上に努めます。
- ② 学びを大切にします。人を大切に思い、何ができるかを考え行動します。
- ③ チャレンジ。常に新しいことへ挑戦していきます。

# 3 経営方針

## 1. 法令厳守（コンプライアンス）

信頼される社会福祉法人として、関係する法令内容と精神を正しく理解し、遵守します。

## 2. 資産の有効活用と透明な事業経営と組織統治（ガバナンス）の確立

かけがえのない経営資産を有効に活用し、職員が働きやすい労働環境づくりや各種の協力体制の強化・拡大に努め、公正かつ透明性の高い適正な経営を可能にする実効性のある組織体制を構築し経営責任を果たします。また、個人情報適切に取り扱った上で、情報の積極的な発信・開示を行うとともに、外部機関による事業評価の実施などにより透明な事業経営を行います。

# 4 事業計画

## 1. 法人本部

◎基本方針：5年後に選ばれる法人（2027年3月）

5年後に選ばれる法人になることを全職員の目標とし、まず職員に選ばれる法人となるよう全職員一丸となって経営改革を実施していきます。その中で、社会福祉法人が持っている人的財産を活かした様々な福祉活動に取り組むとともに、経営組織のガバナンスの強化や安定的な財務基盤の確立を図ります。また、当法人が保有する財産のうち、事業継続に必要な財産を控除して再投下可能な財産が残った場合は、社会福祉充実計画を策定し既存事業の充実や新規事業に活用します。

◎法人全体の取組

1. 教育事業部から共育事業部と改め、職員から選ばれる施設づくりを重点課題とし、ケアの向上や全職員の意識向上等に取り組み、福祉の担い手として未来を構築していきます。（熊本県が推奨するKaigo Prideとのコラボレーション等など）
2. 障がい者サポート企業・団体（令和2年2月27日認定：認定番号190009号）としての活動を強化していきます。

# 1. 法人本部

◎重点実施事項：5年後選ばれる法人へ向けて

- ① 社会にイノベーションを起こします！
  - ・人との時間（刻）を大切に想い、心豊かに互いを認め尊重し、そのひと時（刻）を大切にします。
- ② ガバナンスの強化及び安定的な財務基盤の確立
  - 1 理事、監事及び評議員が各々の役割を認識し、法人経営と各事業運営のチェック機能として、理事会、監事、評議員会の相互牽制機能を強化します。
  - 2 公益性に根差した事業活動を可能とするために、適正な収益を確保し、安定的な財務基盤を確立します。
- ③ 人材について
  - 1 人材育成に力を入れ、人間力の向上に努めます。
  - 2 各事業所職員の資質向上や各専門技能の習得のため、研修の実施や外部講師による内・外部研修に取組、キャリアアップを図ります。
  - 3 5年後の将来を見据えた取組みを強化していきます。
  - 4 海外研修制度などの利用に向けた取組みを行っていきます。
  - 5 PDCAサイクル、OJTを活用して働き方改革を推進していきます。

# 1. 法人本部

◎年間スケジュール：メインは人材育成

研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
さわらび人	◎		◎			◎			◎		◎	
さわらびケア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
さわらび魂	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

【担当講師】 上記◎は開催予定月

さわらび人（法人事業部）、さわらびケア（石本リデルライトホーム施設長）、さわらび魂（田木講師）

さわらび人 …… 多角的な学び・一人の人としての成長を図る。

さわらびケア …… 介護分野に重点を於いてのスキルアップ研修。未来の介護を創る研修。

さわらび魂 …… 「自分を知る」為の研修。他者を思いやり、あり方・やり方を学び実践する。



## 2. 特別養護老人ホーム さわらび（短期入所介護を含む）

◎R4年度目標：「笑顔・元気・感謝 めざせ！さわらび人」

### ◎行動指針

- ① 相手の気持ちになり、**やさしさ**と**思いやり**のところで接します。  
3ヶ月に1度、自分と向き合う時間を作る。（フロアミーティングにて振り返り）
- ② 入所者様との**会話**、入所者様の**笑顔**を大切にします。  
入所者との日々の時間・会話を大切にし、コミュニケーションを積極的に行う。  
個別及び集団レクレーションの実施。
- ③ 日々の挨拶は、**笑顔**と**心**と**元気**を込めて行います。  
挨拶は明るく10%増しの笑顔と元気で！
- ④ 何事にも失敗を恐れず**チャレンジ**します。  
まずは、ポジティブ思考！とにかく、チャレンジ精神で新たな取組、業務改善を実施。
- ⑤ ご利用者様や仲間には『**リスペクト**』『**感謝**』の気持ちを忘れません。  
人生の先輩であるご利用者様や、「さわらび」という名の船に乗っている仲間に対し、  
リスペクトの気持ちを持ち、「ありがとう」の言葉を大事にする。
- ⑥ 私たちは、**マインド**を大切にします。  
一つ一つのケアに於いて、あり方を意識し、根拠あるケアを行います。  
「なぜ？」「どうして？」を考えて行動する。

## 2. 特別養護老人ホーム さわらび（短期入所介護を含む）

### ◎重点実施事項

- ① 介護ケアの技術向上  
施設内・外研修への参加を積極的に実施し、介護ケア技術の向上に努める。  
内部統制強化のため、半期ごとに内部監査を実施する。
- ② 中長期での取組
  - 1 介護人材を介護人財に変える。ライフクリエーターとしての取組を強化。
  - 2 より良い職場環境の整備
  - 3 人材擁護・自己研鑽
  - 4 チームアプローチ強化
- ③ 非常災害対策、防犯対策、感染症対策
  - 1 感染症対策強化を図り、発生及びまん延等に関する取組の強化を実施。
  - 2 消防訓練（年2回）及び消防設備点検、教育を実施。
- ④ 業務継続に向けた取組の強化  
感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施を今後2年間で構築していきます。

## 2. 特別養護老人ホーム さわらび（短期入所介護を含む）

### ◎年間スケジュール

月	行事計画
4月	桜花見
5月	母の日・運動会
6月	父の日・五月雨会
7月	スイカ割り・流しそうめん
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	秋祭り・コスモス鑑賞
11月	お月見会
12月	クリスマス会・忘年会
1月	新年会・初詣
2月	節分会・バレンタインデー
3月	ひな祭り・花見
年2回	家族会

委員会	実施
感染予防対策	毎月
リスクマネジメント	毎月
栄養管理	毎月
褥瘡・排泄予防	毎月
イベント	毎月
口腔ケア	毎月
防災	年2回
広報	毎月
看取り	看取り対応時

月	研修計画
4月	施設理念・ビジネスマナー
5月	食中毒・嘔吐物処理について
6月	口腔ケアについて
7月	KYT・身体拘束・高齢者虐待
8月	AED・心肺蘇生
9月	避難訓練（夜間）・看取り
10月	感染症対策について
11月	褥瘡・排泄について
12月	避難訓練（昼間）
1月	個人情報保護法について
2月	事故予防対策・権利擁護
3月	認知症について

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。

### 3. デイサービスセンター さわらび

- ◎R4年度目標 : Fam（利用者様）と一緒に人生を創っていく
- ◎デイサービスセンターのValue（価値）  
Fam（利用者様）の在宅人生を伸ばす
- ◎デイサービスセンター Mission（使命）・ 行動指針
  - ① よい人財・よいチーム  
個を高め合い、互いの専門性を尊重する
  - ② よいサービス  
継続した学習過程を持ちスキルの向上に努める
  - ③ 安定した運営  
常に問題意識を持ち提案する
  - ④ 目標達成に向けて  
より良くなるために継続と進化し続けます

### 3. デイサービスセンター さわらび

#### ◎重点実施事項

##### ① 3つの課の設立

CS課 : 顧客満足度調査・環境整備・個別支援の共有・定例カンファレンス・イベント  
システム課 : パフォーマンス向上・業務の見直し・加算パンフレット・加算のチェック機能  
マーケティング課 : 情報発信/広報 (SNS) ・相談窓口・営業活動・地域活動

##### ② 中長期での取組

- 1 介護人材を介護人財に変える。ライフクリエイターとしての取組を強化。
- 2 より良い職場環境の整備
- 3 人材擁護・自己研鑽
- 4 チームアプローチ強化

##### ③ 業務継続に向けた取組の強化

感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施を今後2年間で構築していきます。

### 3. デイサービスセンター さわらび

#### ◎年間スケジュール

月	行事計画
4月	生け花・料理教室
5月	パン教室・工作クラブ
6月	ファッションショー・生け花
7月	実演食・おやつ会
8月	夏祭り・生け花
9月	敬老会・感謝祭
10月	カラーセラピー・焼き芋
11月	介護の日会
12月	クリスマス会・忘年会
1月	新年会・初詣
2月	節分会・生け花
3月	花見
不定期	ボランティア交流

月	研修計画
4月	SW研修（バ이스ティック①）介護過程の展開
5月	SW研修（バイスティック①）介護過程の展開
6月	SW研修（バイスティック②）介護過程の展開
7月	SW研修（バイスティック②）ICF
8月	SW研修（バイスティック③）ADL（BI/FIM）
9月	SW研修（バイスティック③）
10月	SW研修（バイスティック④）自立支援・尊厳
11月	SW研修（バイスティック④）
12月	SW研修（バイスティック⑤）マネジメント
1月	SW研修（バイスティック⑤）マネジメント
2月	SW研修（バイスティック⑥）
3月	SW研修（バイスティック⑥）

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。

## 4. 居宅介護支援事業所 さわらび

◎R4年度目標 : 選ばれる事業所／選ばれるケアマネジャー

◎居宅介護支援事業所さわらびのValue (価値)

「家族の次に信頼されるパートナーになる」

「シームレスケアの現実と、一つ先を見据えたサービスを紡ぐ」

◎行動指針

- ① 着実なケアマネジメント力の向上
- ② 関係する人との相互関係の力 (連携力) の向上
- ③ 地域との繋がり強化に努める
- ④ 互いの心を感じ、心から伝える

## 4. 居宅介護支援事業所 さわらび

### ◎重点実施事項

#### ① 業務管理と資質の向上

- 1 PCやICTを活用し、必要書類の整理や管理、業務の効率化を図る
- 2 内部ミーティングや他事業所との連携を充実し、情報共有・情報交換に努める
- 3 ケアマネジメント力を高めるために、施設内外の研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努める

#### ② 地域との連携及び交流

- 1 サロンや老人会との連携しニーズの発掘に努める
- 2 ささえりあ武蔵塚と居宅包括連絡会を定期的を開催する
- 3 自治会や民生員と協働し、地域活性化に向けた取組を実施する

#### ③ 業務継続に向けた取組の強化

感染症や災害が発生した場合であっても、必要な支援サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施を今後2年間で構築していきます。



## 4. 居宅介護支援事業所 さわらび

### ◎年間スケジュール

	ケアマネカup	居宅内部充実	BCP
	月1回の勉強会	内部環境整備	策定
4月	倫理法令について	トリアージ見直し	
5月	ケアプランについて	居宅事業所連携会	コロナ、感染
6月	アセスメント・担当者会議について	個別相談会	
7月	モニタリング・支援経過について	マニュアル整備	
8月	事例検討	居宅事業所連絡会	
9月	認知症について	個別相談会	災害
10月	プライバシー保護 について	新入職受け入れ 実習生受け入れマニュアル整備	
11月	BCPについて	民生員との勉強会	
12月	感染について	事業計画・個別相談会	
1月	事例検討	居宅事業所連絡会	見直し
2月	虐待について	運営規定	
3月	次年度計画		

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。

## 5. グループホーム 大和

◎R4年度目標 : 認知症グループホームの強みを活かして

◎グループホームの役割

- (1) 地域の行事への協力・参加
- (2) 近所づきあいや地域の見守り
- (3) 認知症カフェやサロンなどの居場所づくり
- (4) 認知症サポーター養成・啓発活動など
- (5) 趣味活動の発表の場を提供～入居者も一緒に～
- (6) 地域住民との顔の見える関係づくり
- (7) 家族介護者への相談支援
- (8) 地域とつながりながら入居者へのケア
- (9) 子どもたちと一緒に認知症の人のやさしい町づくり

◎ケアの理念

- 1 共に笑顔のある楽しい暮らし
- 2 入居者が自分でやりたいことは、安心して出来るよう見守ります
- 3 入居者の一日一日を大切にし、安心・安楽に暮らせるようにします
- 4 入居者と家族のつながりを大切にします
- 5 誰でも気軽に立ち寄れる場所にします
- 6 スタッフは常に学びを忘れず専門性を高めます

## 5. グループホーム大和

### ◎重点実施事項

- ① 認知症ケアの技術向上（BPSD（行動・心理症状）の軽減）  
施設内・外研修への参加を積極的に実施し、介護ケア技術の向上に努める。  
内部統制強化のため、半期ごとに内部監査を実施する。
- ② 中長期での取組
  - 1 介護人材を介護人財に変える。ライフクリエーターとしての取組を強化。
  - 2 より良い職場環境の整備
  - 3 人材擁護・自己研鑽
  - 4 チームアプローチ強化
- ③ 非常災害対策、防犯対策、感染症対策
  - 1 感染症対策強化を図り、発生及びまん延等に関する取組の強化を実施。
  - 2 消防訓練（年2回）及び消防設備点検、教育を実施。
- ④ 業務継続に向けた取組の強化  
感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施を今後2年間で構築していきます。

## 5. グループホーム大和

### ◎年間スケジュール

月	行事計画
4月	花見
5月	母の日・運営推進会議
6月	父の日・消防訓練
7月	七夕会・運営推進会議
8月	夏祭り
9月	敬老会・運営推進会議
10月	お月見・秋祭り
11月	ラン伴・運営推進会議
12月	クリスマス会・忘年会
1月	新年会・初詣・運営推進会議
2月	節分会・避難訓練
3月	ひな祭り・運営推進会議

月	研修計画
4月	認知症ケア①定義 ・ コロナ感染予防
5月	認知症ケア②中核 ・ 高齢者虐待
6月	認知症ケア③技術 ・ 食中毒
7月	高齢者の病気と緊急時対応・認知症ケア④
8月	薬について ・ 認知症ケア⑤
9月	口腔ケアについて ・ 認知症ケア⑥
10月	日本ホスピス在宅ケア・感染症対策
11月	認知症ケア⑦ ・ ⑧
12月	成年後見人制度について
1月	認知症ケア⑨
2月	高齢者抑制について
3月	認知症ケア⑩

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。

## 6. 介護付き有料老人ホーム さわらびⅡ

◎R4年度目標 : 「あり方（精神・マインド）にこだわる」

### ◎行動指針

- ① ご利用者様・ご家族の笑顔を追求する。  
「楽しめる食事」
- ② アクティビティの充実。  
様々なクラブ活動に加え、ご利用者様主体の個別支援の充実を図る。
- ③ 気づきの共有。  
細かな変化など、記録や情報共有を図り、ケアの向上に努めます。
- ④ チームワーク。  
ライフクリエーターとして、全職員で利用者様の支援を行います。
- ⑤ ご家族との友好的関係づくり。  
LINEやSNSを活用し、ご家族との情報共有に努めます。
- ⑥ 私たちは、**マインド**を大切にします。  
一つ一つのケアに於いて、あり方を意識し、根拠あるケアを行います。  
「なぜ？」「どうして？」を考えて行動する。

## 6. 介護付き有料老人ホーム さわらびⅡ

### ◎重点実施事項

- ① 介護ケアの技術向上  
施設内・外研修への参加を積極的に実施し、介護ケア技術の向上に努める。  
内部統制強化のため、半期ごとに内部監査を実施する。
- ② 中長期での取組
  - 1 介護人材を介護人財に変える。ライフクリエーターとしての取組を強化。
  - 2 より良い職場環境の整備
  - 3 人材擁護・自己研鑽
  - 4 チームアプローチ強化
- ③ 非常災害対策、防犯対策、感染症対策
  - 1 感染症対策強化を図り、発生及びまん延等に関する取組の強化を実施。
  - 2 消防訓練（年2回）及び消防設備点検、教育を実施。
- ④ 業務継続に向けた取組の強化  
感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施を今後2年間で構築していきます。

## 6. 介護付き有料老人ホーム さわらびⅡ

### ◎年間スケジュール

月	行事計画
4月	春散歩・映画クラブ
5月	菖蒲湯・母の日
6月	父の日・運動会
7月	七夕会・丑の日
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	秋祭り・弓削小交流会
11月	お月見会
12月	クリスマス会・忘年会
1月	新年会・初詣
2月	節分会・バレンタインデー
3月	ひな祭り・花見
年2回	家族会

委員会	実施
感染予防対策	毎月
リスクマネジメント	毎月
給食	毎月
褥瘡・排泄予防	毎月
イベント	毎月
口腔ケア	毎月
防災	年2回
広報	毎月
環境整備	毎月
看取り	看取り対応時

月	研修計画
4月	感染症（コロナウイルス関連）
5月	看取りケアについて
6月	食中毒について
7月	レクリエーションについて
8月	避難訓練（夜間）・AED講習
9月	高齢者虐待について
10月	感染症（インフルエンザ・ノロウイルス）
11月	オムツ交換・褥瘡防止について
12月	口腔ケアについて
1月	避難訓練（昼間）
2月	急変時・リスクマネジメントについて
3月	認知症ケアについて

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。

## 7. サービス付き高齢者向け住宅 杉上

◎R4年度目標 : 「介護現場を守ることは、社会を守ること」

### ◎行動指針

- ① 健全な事業を営むための環境づくり
- ② 3ム（ムリ・ムダ・ムラ）の解消。
- ③ サービス内容の改善と取組。
- ③ 生活サポート・自立のために必要な支援に努める。
- ④ 各種手順書及びマニュアルの作成に努める。

### ◎健康管理・環境整備

- ① 入居者様の状況把握と主治医・ケアマネジャーとの連携を強化。
- ② 衛生管理の強化。
- ③ 設備・備品の整備や不備事項改善。



## 7. サービス付き高齢者向け 杉上

### ◎重点実施事項

- ① 介護ケアの技術向上  
施設内・外研修への参加を積極的に実施し、介護ケア技術の向上に努める。  
内部統制強化のため、半期ごとに内部監査を実施する。
- ② 中長期での取組
  - 1 介護人材を介護人財に変える。ライフクリエーターとしての取組を強化。
  - 2 より良い職場環境の整備
  - 3 人材擁護・自己研鑽
  - 4 チームアプローチ強化
- ③ 非常災害対策、防犯対策、感染症対策
  - 1 感染症対策強化を図り、発生及びまん延等に関する取組の強化を実施。
  - 2 消防訓練（年2回）及び消防設備点検、教育を実施。
- ④ 業務継続に向けた取組の強化  
感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施を今後2年間で構築していきます。

## 7. サービス付き高齢者向け住宅 杉上

### ◎年間スケジュール

月	行事計画
4月	花見
5月	菖蒲湯・母の日
6月	父の日・運動会
7月	七夕会・丑の日
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	秋祭り
11月	ラン伴
12月	クリスマス会・忘年会
1月	新年会・初詣
2月	節分会・バレンタインデー
3月	ひな祭り・花見
年2回	家族会

月	研修計画
4月	感染症（コロナウイルス関連）
5月	看取りケアについて
6月	食中毒について
7月	レクリエーションについて
8月	避難訓練（夜間）・AED講習
9月	高齢者虐待について
10月	感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）
11月	オムツ交換・褥瘡防止について
12月	口腔ケアについて
1月	避難訓練（昼間）
2月	急変時・リスクマネジメントについて
3月	認知症ケアについて

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。

## 8. 大和保育園

◎R4年度目標 : 「3年後の大和保育園の基礎を作る」

### ◎基本理念

- ① 思いやりのある心 ・ 健康な身体 ・ ありがとうの感謝
- ② 生あるすべてのものを大切にする心を育てます。
- ③ 集団生活の中から、ルールと協調性が身につくように養育します。
- ③ 集団生活の中での個性を尊重し、自主性のある行動力を育てます。
- ④ 食育を通して食事の大切さを知らせ、健全な心身の発達を助けます。
- ⑤ 「ありがとう・ごめんなさい」が素直に言える心を育てます。

### ◎保育方針

- ① 考える保育 : 活動の目的や子供の目線を常に意識し、その達成に努める。
- ② 繋がる保育 : 日々の保育と行事や地域・子ども同士の繋がりを意識する。
- ③ 伝える保育 : 園の考えや、活動を積極的に保護者や地域に伝えていく。

## 8. 大和保育園

### ◎重点実施事項

- ① 保育内容のレベルアップ  
園内・園外研修及び発表の場を多く設け、保育内容の向上に努める。  
保育士間のコミュニケーションの活性化と分野別リーダーの育成。
- ② 保護者対応の強化
  - 1 保育参観を増やす。(随時)
  - 2 保護者懇談会の開催(年3回程度)
  - 3 保護者参加型の行事の計画
- ③ 非常災害対策、防犯対策、感染症対策
  - 1 感染症対策強化を図り、発生及びまん延等に関する取組の強化を実施。
  - 2 消防訓練(年2回)及び消防設備点検、教育を実施。
- ④ 業務継続に向けた取組の強化  
感染症や災害が発生した場合であっても、必要な保育サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練(シミュレーション)の実施を今後2年間で構築していきます。

## 8. 大和保育園

### ◎年間スケジュール

月	行事計画
4月	進級入園式・救急処置研修会
5月	お見知り遠足・健康診断
6月	保育参観・歯科診断・クラス懇談会
7月	七夕会・キャンプ・プール開き
8月	夏祭り
9月	運動会・保育参観・クラス懇談会
10月	芋ほり
11月	保育参観・クラス懇談会
12月	クリスマス会・もちつき
1月	新年子供会
2月	節分会 発表会
3月	卒園式

委員会	実施
ヒヤリハット	毎月
給食	毎月
環境整備	毎月
行事検討	年3回

月	研修計画
4月	内部研修・保育協会キャリアアップ研修
5月	保育協会キャリアアップ研修
6月	保育協会キャリアアップ研修
7月	内部研修・保育協会キャリアアップ研修
8月	保育協会キャリアアップ研修
9月	保育協会キャリアアップ研修
10月	内部研修・保育協会キャリアアップ研修
11月	保育協会キャリアアップ研修
12月	保育協会キャリアアップ研修
1月	内部研修・保育協会キャリアアップ研修
2月	保育協会キャリアアップ研修
3月	保育協会キャリアアップ研修

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。

## 9. さわらびKitchen

◎R4年度目標 : 「提供する先の相手を想う」

◎基本理念

① おいしさ 安全性

- ・相手を想いながら調理/味付け
- ・安心して食べるための体制 (品質・形態)

② たのしさ よろこびの付与

- ・相手 (思い出・嗜好) に寄り添う
- ・日常と特別、双方の演出

◎Kitchenの方針

- ① 提供する相手が軸に、提供側が100%にならないように
- ② 目標に向かって共に挑む。支え合い・高め合う
- ③ 個々を伸ばし、自身に繋げる。感謝を忘れない

## 9. さわらびKitchen

### ◎重点実施事項

- ① 提供内容のレベルアップ  
介護職や医師と連携し、個人に合った食事の提供に努める
- ② 嗜好調査  
ご利用者様やご家族への聞き取りや、チームでの取り組みを強化していく
- ③ 非常災害対策、防犯対策、感染症対策
  - 1 感染症対策強化を図り、発生及びまん延等に関する取組や予防の強化を実施。
  - 2 災害時に給食システムがストップした場合を考慮し、各種連携先と対策強化実施。
- ④ 業務継続に向けた取組の強化  
感染症や災害が発生した場合であっても、必要な食事サービスが継続的に提供できる体制を構築するために、業務継続に向けた計画の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施を今後2年間で構築していきます。

## 9. さわらびKitchen

### ◎年間スケジュール

月	行事計画
4月	お花見
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	秋祭り
11月	秋の収穫祭
12月	クリスマス
1月	新年
2月	節分
3月	ひな祭り

月	研修計画
4月	感染症関連
5月	食中毒
6月	食事形態改善について
7月	水分補給
8月	目で楽しむ調理教室
9月	感染症関連
10月	ノロウイルス
11月	リスクマネジメント
12月	デイサービス提供
1月	特養・ショート提供
2月	行事食への取組
3月	家族へ向けた調理教室

\* コロナ等の感染状況につき、変更になる場合もある。